

# クラスターが発生した児童等利用施設への調査から見た「感染が広がったと考えられる5つの場面」と「改善例」

各施設における感染予防対策にご活用ください。

感染が広がったと考えられる場面		改善例
給食やおやつ	<p>【従来の取組】 食育の観点から、職員と子どもと一緒に給食を食べたり、子ども同士が同じテーブルで対面で食べていた</p> <p>↓</p> <p>【リスク1】 飛沫が飛びやすいため、感染リスクが高まる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員と子どもの食事時間をずらしたり、子ども同士が対面で食事をとらない</li> <li>○キャラクターシール等を子どもが座る位置に貼付し、間隔をあけて座るよう習慣づける</li> <li>○出来る限りの黙食を声かけ（年齢に応じた対応）</li> <li>○離乳食介助は、フェースシールドや手袋を着用</li> <li>○職員が交代で食事をとれる体制作り</li> </ul>
マスク着用	<p>【従来の取組】 職員は全員マスクを着用し、子どもは可能な範囲でマスクを着用</p> <p>↓</p> <p>【リスク2】 特に低年齢児はマスク着用が困難なため、感染リスクが高い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マスクが出来ない子どもを守るため、大人はマスクの着用を徹底（不織布マスクを推奨）</li> <li>○子どもに無理なくマスク着用が可能と判断出来る場合は、一時的にマスク着用を推奨（無理強いはいしない）</li> <li>○衛生面から、予備のマスクを持参してもらい、給食後、交換</li> <li>○個人用のマスクケースを持参（衛生的に管理）</li> <li>○適切なマスク着用方法を職員がサポート</li> </ul>
合同保育	<p>【従来の取組】 消毒、換気等の対策を行い、間隔をあけてリズム室等の広い場所で実施</p> <p>↓</p> <p>【リスク3】 感染者が発生した場合、感染拡大の可能性が高い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大人数での行事は中止し、クラス単位で行う</li> <li>○合同で行う延長保育（朝・夕）等の時間を短縮又は部屋を分けて少人数で実施（クラスで過ごす時間を増やす等）</li> <li>○異年齢児が接触しないよう、園庭や砂場の利用時間をスケジュールで管理</li> <li>○空気清浄機やCO2濃度測定器を活用し、換気を徹底</li> <li>○他のクラスへの職員のサポートは必要最小限とし、職員の行動歴を残す</li> </ul>
行事等	<p>【従来の取組】 外部の者がいっしょに参加する行事は、人数制限、健康チェックや換気等を行い実施</p> <p>↓</p> <p>【リスク4】 施設外からウイルスが持ち込まれる可能性がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行事の進め方について、感染対策の観点から、前例や慣習の見直し</li> <li>○感染リスクの高い室内での運動等を伴う行事の中止</li> <li>○外部講師による行事は原則禁止（必要な場合は、リモートで実施）</li> <li>○保護者参加の行事は日時分散や時間短縮等を行い、必要な行事に限定</li> <li>○受入れ、お迎え時の保護者の検温や消毒の徹底</li> </ul>
保護者等への働きかけ	<p>【従来の取組】 家庭内に風邪症状（発熱、咳など）や濃厚接触者となった方がいる場合の登園自粛のお願い</p> <p>↓</p> <p>【リスク5】 家族等の感染が判明した後に、報告される事例があり、結果として感染拡大（クラスター）につながる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オミクロン株は、子どもへの感染力が強くクラスターが発生しやすい特徴を、保護者に根気強く説明し、登園自粛の協力をお願い</li> <li>○都合のつく方には、早めのお迎えをお願い</li> <li>○啓発チラシの配布、県の無料PCR検査や同居家族への第3回目ワクチン接種の案内等を周知</li> <li>○施設に陽性者判明の連絡があった場合は、早めのお迎えを要請するとともに、感染拡大を防ぐため、異年齢児が接触しないよう対応</li> </ul>

